第6号

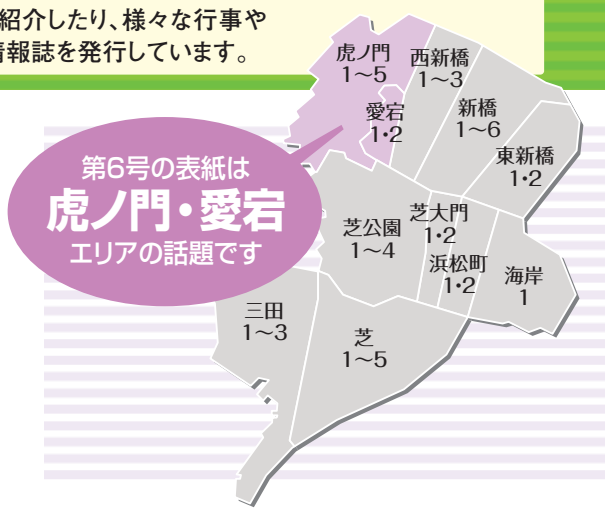
芝地区地域情報誌

平成20年
1月20日発行

発行元
港区
芝地区総合支所
地区政策課

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

愛宕隧道の愛宕側には、愛宕山へ登るエレベーターも設置されています（運行時間 7:00から20:00まで）



自然と歴史が残る“まち”

江戸時代から豊かな自然に囲まれた愛宕山（標高26m）。天然の山としては東京23区内最高峰です。その麓には曹洞宗の名刹「青松寺」を中心に、オフィス棟と住宅棟の高層ビルが寄り添うように建ち並んでいます。青松寺は、平成15（2003）年に整備されました。当時、宗教法人と民間事業者が共同でまちづくりを行うことは例がなく、注目を集めました。山門をくぐると、歴史文化を残し、開放的な空間を共有できるように整備された設計コンセプトを感じることができます。

青松寺から愛宕山へ登る道は、愛宕神社へ抜け出ることができます。その下を走る愛宕隧道は、愛宕と西久保巴町（現：虎ノ門三丁目）の交通を円滑化するために、大正4（1915）年2月着工、15年の歳月をかけて完成しました。白色石のアーチ環の縁飾りが美しい長さ73・45m、幅9mのトンネルで、今も完成当時の外観を残しています。

info
青松寺
愛宕2-4-7
TEL 03-3431-3514

「虎ノ門砂場」の誇り

待ち合わせ場所には照れくさそうにしている方がいた。この方が有名なそば店「虎ノ門砂場」の5代目 稲垣隆一さんである。「虎ノ門砂場」は明治5（1872）年の創業から現在まで、たくさんの人に愛されるそばを作り続けてきた。

「砂場」の名は16世紀、大坂城築城の際に設けられた砂置場（資材置場）に和泉屋というそば店があったことからで、このそば店が徳川家康とともに江戸入りした。当初はそばがきやそば団子が主流だったが、江戸に小麦粉が入ってくるようになり今の麺（そば切り）となる。江戸時代は“単身赴任者”が多く、そば屋はコンビニと情報交換（隠密などの）の場の役割を果たしていたそうだ。そんな時代を経て、今がある。

現在は稲垣さんの長男が6代目となっているが、6代続くということは並大抵のことではない。秘訣をお聞きすると、「継続は力なり」の一言。確かに。その一言に135年の重みがあった。そして、「みなさんのおかげ」「ちゃんとしたものを出すのが大切」という謙虚さと誠実さが、そばとお店の方たちからも伝わってくる。先代の言葉である「そばは日本人の文化の一つ」を大切にしているという稲垣さんからは、誇りと自信があふれていた。

〔文／鈴木あかね〕

info
虎ノ門砂場本店
虎ノ門1-10-6
TEL 03-3501-9661

○現在の店舗は大正12（1923）年の建造。木造二階建て。大正時代の風情を漂わせている。
○長男で6代目の隆俊さんが「店を継ぐなら、このままの形で」と強く希望。
○だが、老朽化は避けられない。地震への不安もある。
○稲垣さん親子は昨年、古民家の再生などを多く手掛ける設計事務所に相談し、建物をそのまま持ち上げて移動する「曳家（ひきや）」という方法で耐震補強工事を行った。
○その間は仮店舗での営業となり、昨年末、現在の場所で改装オープンとなった。

芝地区 心（こころ）の風景

青雲へ 愛宕の杜の 七五三

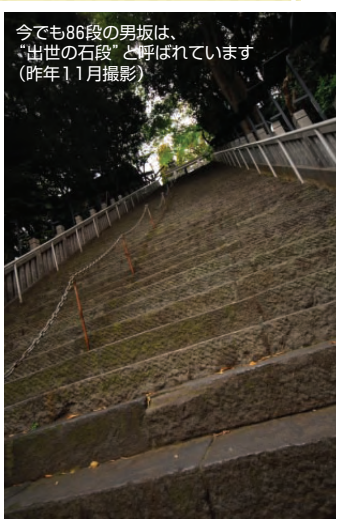
東京国際女子マラソンで賑わう日比谷通りの休日。日溜まりに誘われて、家光伝説・曲垣平九郎ゆかりの「出世の石段」を駆け登り、愛宕神社を参拝しました。

鳥居を抜けると、招き石像の脇に“手折りの梅樹”が広がり、その木々は大空に向かって心地良く枝葉を伸ばしています。隣の池では、七五三の晴れ着姿で、群れる錦鯉に餌を蒔く幼子の声が…。親子3代が一緒になって成長を祝う、微笑ましい情景です。

昔は、「桜田の山」と呼ばれ、家康の「京都、愛宕権現」飛来の噂から“愛宕山”と語り継がれるわずか標高26メートルの御山。今も、愛宕様は時を超えて、この地域を見守り続けています。

若者が立身出世を誓う功名心の代名詞ともいえる“青雲の志”さえ、死語になりつつある現代。愛宕の杜は、明日を夢みる子どもたちにとって、大人になっても残したい大切な誇りです。あなたも、86段の男坂を訪ね、梅の香りが漂う風に吹かれ、江戸の世から伝わる時流の調べを味わってみませんか?

〔文／中原晃治〕


今でも86段の男坂は、“出世の石段”と呼ばれています（昨年11月撮影）

info
愛宕神社
愛宕1-5-3
TEL 03-3431-0327

新交通システム『ゆりかもめ』

モノレール？ 鉄道？ それともバス？ その真相やいかに!!

「ゆりかもめ」は、レインボーブリッジやお台場を通る全16駅、約15kmの道のりを走ります。通称『走る展望台』とも呼ばれていて、車内から見る景色は素晴らしく、夜景はおすすめです。

モノレールでも、鉄道でも、バスでもない、「ゆりかもめ」は一体何ものでしょう？

正解は地上約9mの高さで、コンクリートの上をゴムタイヤで走る『新交通システム』です。走行路は「ゆりかもめ」しか走らないので、交通渋滞もなく、ホームにも扉をつけることで人身事故も防ぐことができ『安全』です。しかも走行路が平らなので、振動や騒音が少なく『快適』です。電気を使って走るので『エコ』ですし、コンピュータを高度利用する『自動化』により省力化と無人化が図れます。『バリアフリー』も考え、全駅にエレベーターを設置しています。駅ホームには江戸文様をつけたり、アナウンスに工夫を施すなど、親しみやすいのも特徴です。

安全を維持するため、車輌・走行路の保守、点検、整備などは厳しく行います。しかし、「ゆりかもめ」も機械です。強風時には停止することもありますが、横転などの心配はありません。

現在、「ゆりかもめ」は、01～28の番号がついていて、19番と20番の欠番を抜いた26台が走っています。01番を見かけたら願い事をしてみましょう！ きっとかなうという“噂”です。

また、沿線での大規模イベント時には臨時ダイヤで運行します。それは、自動化によって臨時ダイヤも組みやすくなっているからです。イベント情報はHPに掲載しているので要チェックです！ 〔都立芝商業高校／飯島美咲、阿部祥子、岡本佳緒〕

info ゆりかもめWEBサイト
http://www.yurikamome.co.jp/

【芝歴史探訪】

歴史を未来へ伝える素晴らしさ

妙定院（みょうじょういん）

浮世絵・東京名所四十八景「赤羽根はし」には、遠くに五重の塔、のどかな川が流れ、増上寺の敷地が描かれています。

徳川家の菩提寺として規模を誇った敷地は現在、そのほとんどが芝公園となりました。しかし、赤羽橋の近く、ビルが林立する中、往時の由緒を伝える増上寺別院「妙定院」が現存します。

妙定院は、宝暦13（1763）年9代将軍徳川家重公を開基と仰ぎ、増上寺第46世妙誉定月大僧正が開山しました。現在、開創250年記念事業として、新本堂建築、土蔵二棟の解体修理、作庭など境内の整備が進められています。港区指定文化財を長く保存してきた「熊野堂」寛政8（1796）年・「上土蔵」文化8（1811）年は戦災を免れ、国の登録有形文化財になりました。

建築士伊坂道子先生によれば「蔵にあった古文書により、江戸の建物の面影が分かるようにどこまで修復できるか」が苦労された点です。土蔵の工事は一般に公開され、伊坂先生によるご講演、

「東京名所四十八景 赤羽根はし」
（港区立港郷土資料館所蔵）

壁土の「荒打ち」という技法を見ることができました。青森の宮大工さんの伝統的木造軸組工法と最新の耐震構造による建築中の新本堂も見学できました。新本堂の屋根と軒は、中世のそりを伝承しつつ、コンピューターによる新しい平成ラインのそりです。中は、凛とした空気を感じ、奥飛騨の檜の香りを深呼吸したくなります。職人達の新本堂、土蔵づくりへの心意気は、「美は細部に宿る」を具現化し、その完成度は素晴らしいです。

ご住職の小林正道さんは、「開かれたお寺として、普請を通して関係者の喜びを一般の皆様にも共に味わっていただき、心の安らぎを得られるくつろぎの寺でありたい」と、語ってくださいました。

都心の中で、これから遥かに続く妙定院の未来と、積み重なる歴史の今をかいま見てください。

〔文／桑原庸嘉子〕

info 芝公園4-9-8
TEL 03-5777-2111
http://www.myojoin.or.jp/

写真提供：妙定院

大使館で取材した郷土料理 ❸

チリのミートパイ
『エンパナーダ』
EMPANADA

【材　料】（20個分）

〈パイ〉

小麦粉	4カップ
ベーキングパウダー	小さじ1
食塩	少々
卵黄	1個分
卵	1個
牛乳	1と1/2カップ
溶かしたショートニング	1カップ

〈具〉

油	大さじ2
パプリカ	小さじ1
たまねぎ	4個
チリパウダー、オレガノ、クミン	各小さじ1/2
牛粗挽き肉	500g
ゆで卵	3個
ブラックオリーブ	20個
レーズン（大粒）	40粒

【作り方】

〈パイ〉

- 卵はよく溶いておく。牛乳は温めておく。
- 小麦粉、ベーキングパウダー、食塩を合わせてふるったものに、卵黄・卵・牛乳・ショートニングを加え、混ぜて生地にする。
- 20等分し、それぞれ薄い円形にのばす。

〈具〉

- たまねぎはみじん切りにし、卵は固ゆでにしてスライスしておく。
- フライパンを熱して油・パプリカ・たまねぎを加え、たまねぎが柔らかくなるまで炒めたら、チリパウダー・オレガノ・クミンと塩（分量外＝適宜）を加え、そこに牛粗挽き肉を入れてよく混ぜ、色が変わるまで火を通す。

〈包む〉

- オーブンを200℃に熱しておく。
- 円形にした生地の半分に、具をスプーンですくってのせ、そこにスライスしたゆで卵・ブラックオリーブ・レーズンをのせる。
- 生地を折って包み、オーブンできつね色になるまで焼く。

取材MEMO

今回は「エンパナーダ」というチリの伝統的なパイ料理をご紹介します。レシピはチリ共和国大使館の公使参事官秘書・長岡絵里子さんに教えていただきました。

世界でも珍しい南北に細長い海岸線を持つチリ共和国。面積は日本の約2倍。そしてチリといえば、やはりワイン。「エンパナーダ」もワインと共に食されます。古くから愛されているこの料理は、独立記念日や家族の大切な日などに振る舞われます。国土の長いチリは食材が豊富で、地域によりパイの中身は魚介やチーズなどもありバラエティー豊かです。少し手間はかかりますが、手作りの思いがこのお料理の秘訣のように感じられました。

もう一つ、気になるチリの代表的な食前酒「ピスコサワー」もご紹介！ぶどうの強めの蒸留酒（ピスコ）とレモンジュースとシロップから作り、その上にメレンゲが浮かぶカクテルです。お好みでシナモンを。今夜は楽しいひとときになりそうです！

〔文／桑原庸嘉子〕

インタビュー

小山内美江子（おさないみえこ）さんへインタビュー

第2回

「君たちは受験『戦争』って言っているけど、どこから弾が飛んでくる？ 戦争じゃないだろ」

浜松町1丁目にある特定非営利活動法人「JHP・学校をつくる会」の代表を務める小山内美江子さん。「3年B組金八先生」の脚本家としても知られています。今回は第2回として「カンボジアと金八先生」についてのお話をお聞きしました。

（次号は第3回「世界へのメッセージ―平和憲法―」を予定しています）

JHPがカンボジアで活動することになったキッカケはどんなことだったのでしょうか？

昭和54（1979）年に「金八先生」が始まりました。当時は'70年代半ばから高校受験のストレスで校内暴力が始まり、学校は大変な状況でした。私の息子も中学校を出たばかりでしたからよくわかりますよ。

その頃、カンボジアではポル・ポト政権が崩壊し、ベトナム軍に追われたポル・ポトはタイとの国境に逃げます。その時に初めてカンボジア国内が内戦でものすごくひどい状況だったことが、日本のテレビに入って来ました。

金八先生が自分のクラスの生徒を連れて荒川の土手に行き、中学3年生の彼らに言うんです。「君たちは受験『戦争』って言っているけど、どこから弾が飛んでくる？ 戦争じゃないだろ。けれど、この荒川の水がずーっと流れて海に出てさらに流れて行った向こう側（カンボジア）には、君たちと同じ年ごろの子が今こう話している間にも鉄砲で撃たれたり地雷に吹き飛ばされたり…毎日、家族や友達、そして自分の死と隣りあわせで暮らしているんだよ」って延々と話しました。

子どもたちは受験で目いっぱいで、1～2点のテストの点に追われています。中学1年生の時と3年生では人が変わっちゃうくらいですよ。長い人生、もっともっと大切なことがたくさんあるだろうと思うのです。そこで金八先生が「点数うんぬんも大切だ。けどね、よその国でこんな理不尽なことが起きている。それに心を痛め、怒り、考え、納得できないことは改めようとする人間になってもらいたい」って言うんです。

その放送の評価は良かったのですが、カンボジアという不幸な国をネタにしてギャランティをもらい、母に暖かい思いをさせ、息子の高校の月謝を払って…なんというか負い目みたいなものを感じてしまって…。だから、いつか必ず、カンボジアに行こうと思いました。

'90年に中東は湾岸危機となり、イラクからヨルダンへ逃げ出した難民の救済に行きました。その翌年の'91年、初めて大学生と一緒にクルド難民救援のためイランに行きました。そこでは大学生たちが当たり前だと思っていたことが全然当たり前じゃない世界で、たとえば街角で若い男女で話していると警察が来て「おまえら親の公認か」って聞かれます。もし公認じゃなかったら捕まっちゃうとか、びっくりすることばかりで。夜はその日あったことをみんなで話し合うのですが、私もとても新鮮な印象を受けました。

そんな時、「ここが終わったら次はどこに行きましょうか？」って彼らが言うから、「あんまりあちこちで戦争や災害がないほうがいいのよ」って話していたんですが、その秋に、カンボジア内戦の和平協定が調印されたので「じゃあカンボジアに行こう」ってなりました。カンボジアは同じアジアだし、平和に向かって歩き出そうとする時だったのです。'91年の暮れにタイ側から様子を見に行き、'92年からは学生を連れて行きました。'93年には全部の難民が祖国へ帰ってきて、総選挙の実施となりました。

私たちは、祖国へ戻って一時収容されるレセプションセンターでお手伝いをしました。毎朝、バスでセンターに通うのですが、日本ならば子どもが登校する時間なのにランドセルを背負っている子なんていないんです。調べてみると、学校がないし、8割もの先生が殺されたり国外に逃げたので教育は壊滅状態でした。そこで『学校をつくろう』と思い立ちました。

'93年に最初の一校を造りました。今、199校目に着工しています。今年度中には200校に届きます。カンボジアには地雷がたくさんあって、除去していても雨季で流されてくるようなことがありました。プラスティックの地雷なんていうのは軽いから流れちゃいます。でも、徐々に撤去作業が進み、気候も定まったので、活動開始です。だから、最初はプノンペン周辺でしか動けませんでしたが、今ではかなり地方まで学校を造っています。ただ、今でも道が悪いとか病院がない地域だと、学生に何かあったとき大変ですからね。そんなことも考えながら学校を建てる所を決めています。

子どもたちに喜ばれたブランコ造り

（リーフレットを指差して）これが学校ですよ。村人がみんなで建てたものです。でも老朽化して雨は漏りますしね。この掘っ建て小屋みたいのを見たら、ちゃんとした学校を造ってやりたいと思うじゃないですか。最初は350万円くらいあれば学校を造れました。でも、為替レートが変わったのと、やはり孫の代まで使えるいい学校を造りたくなって…最近ではちょっと高くなりました。釘も満足に打てないぶきっちょだった学生たちが、自ら工夫しながら四苦八苦してブランコを造ります。それが子どもたちに喜ばれて、それで学生も嬉しくなる。楽しいですよ。

「金八先生」とカンボジアがつながっていたってことをお聴きして、びっくりしました。

'79年の秋から「金八先生」を書きました。私の息子は'78年の3月に中学校を卒業しました。中学3年生になるとだんだん受験のことしか考えなくなりますね。仲のいい友達だったはずなのに、なんだかギクシャクしてきます。今が人生で一番感受性豊かな年頃ですから、母親としてはもっといろんなことに胸震わせてほしいと思いました。お友達の家の前を通るとすごくきれいな花が咲いていて「いい花咲いたね」と話しかけても、その家の子は気が付いていません。そういうことって寂しいことだと思って「金八先生」を書き上げました。だから、成績第一の親御さんの足を引っ張っているような番組が、実は「金八先生」ですよね。

「金八先生」でさまざまな社会問題が提起されました。そういう話題を先取りするこつは？

第6シリーズで性同一性障害を取り上げました。女性だったという競艇選手がカミングアウト（公表）しました。体を全部男性に変えましたが、戸籍は「女」。パスポートとか保険証が変わりません。そのために命にかかわる悲劇もあり、国会にも働きかけたりして若い議員さんが集まり、議員立法で法律をつくってくれて、性適合手術をした女性が名実ともに「男性」になりました。その議員の中にはドラマを見てから参加された方もいました。手術に成功した人が戸籍も本来の性に変わり結婚式に呼んでくれました。嬉しかったなぁ。

また、スポーツ特待生制度っていうのが騒がれましたよね。それはとっくに'79年に書いています。8話目にエイキチって野球が得意の子でね。その問題が30年近くもたって騒がれたの。給食費を払わない親の問題のことを2004年に書いています。いつも、みなさんより半歩先のものを書けるといいなって心掛けました。今は、学校選択制とか中学校の前期後期制とか、そういう現実をとらえていかないといけないので、その準備はなかなか大変です。金八先生が教育委員会に行っちゃったってことでみんなが心配していますが、職員というか雑用に行っているだけで、委員になったわけじゃありません。もうすぐ戻ってきますよ、荒川土手に…「3年B組～ぃ！」「金八せんせ～！」ってね。

（平成19（2007）年7月にインタビューさせていただきました。平成19年10月から「3年B組金八先生」の新シリーズが始まっています）

info JHP・学校をつくる会について

特定非営利活動法人「JHP・学校をつくる会」は、平成5（1993）年よりカンボジアを中心に学校建設、音楽・美術教師育成などの地域に根ざした国際協力に携わっています。同時に「国際ボランティア活動」の実践として、カンボジア、アフリカ諸国、旧ユーゴスラビア、インド、国内災害救援活動などに総勢1000名を超える若者を派遣しています。

浜松町1-25-11 宮下ビル4階
TEL 03-6411-5261
http://www.jhp.or.jp/

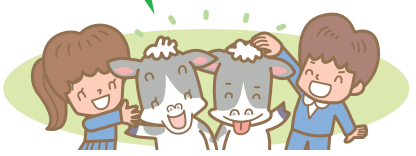
イベントレポート1

区立芝小学校に子牛たちがやってきた！

出前酪農体験『わくわくモーモースクール』

平成19年11月19日（月）芝小学校で、関東生乳販売農業協同組合連合会の主催による『わくわくモーモースクール』が開催されました。牛とのふれあい体験を通じて命の尊さを学び、酪農に対する理解を深めることなどがねらいです。埼玉県所沢市の牧場から、乳牛一頭と生後間もない子牛二頭がやって来ました。

『牛乳・乳製品コーナー』では、1～4年生が“牛乳の仲間たち”についてのお話を聞きバターやプチ・チーズケーキづくりを実習、5・6年生はカッテージ風チーズづくりにチャレンジしました。



『酪農体験コーナー』では、酪農家の人から牛の一生や牧場の仕事についてのお話を聞き、実際に子牛にミルクをあげ、乳しぼりやブラッシングを体験しました。本物の牛を初めて目にして最初は緊張気味だった子どもたちも、実際に乳をしぼってみて「あったかい！」「いっぱい出るね～」と興味津々。丹念に子牛をブラッシングする子や、おなかを空かしてミルクを欲しがる子牛にペロペロとなめられて「くすぐったい！」とはしゃぐ子もいて大にぎわいでした。

info 関東生乳販売農業協同組合連合会
TEL 03-5844-3061

イベントレポート2

全国大会でチームワーク賞に輝くクッキー♪

食べてみてくださいね！ ～港区立障害保健福祉センター～

障害保健福祉センター『みなとワークアクティ・クッキー班』は、昨年の12月1日（土）に横浜で行われた『第3回ユニバーサルベーキングカップ～焼き菓子部門～』に出場しました。この大会は2年に1度、福祉施設を対象として、パンと焼き菓子それぞれの部門ごとに日ごろの技術を競う全国大会です。

北は岩手県、南は沖縄県の28チームの中から1次・2次審査を通過した6チームにより本大会が行われ、『みなとワークアクティ・クッキー班』はみごと“チームワーク賞”を受賞しました。

受賞したお菓子は下記店舗で取り扱っていますので、ぜひご賞味ください。

受賞したお菓子はここで購入できます♪

info
- ●喫茶「たんぽぽ」
  芝1-8-23 障害保健福祉センター1階（ヒューマンぷらざ）
  TEL 03-5439-8063
- ●福祉売店「はなみずき」
  芝公園1-5-25 港区役所1階

母校を紹介します♪

はじめまして!! 東京女子学園高等学校です

都営地下鉄三田駅からNECビルの方へ日比谷通りを少し歩くと見えてくる茶色っぽい建物が東京女子学園です。一見、会社のオフィスのように見える校舎ですが、一歩足を踏み入れた瞬間、そこは生徒たちの元気な声が響く明るい学校の姿に変わります。

校舎もきれいで制服も新しくなってからまだ何年もたっていない東京女子学園ですが、実は100年以上の長い歴史があります。東京女子学園は今から104年前の明治36（1903）年に7人の設立者によって建てられました。初代校長の棚橋絢子先生はとても素晴らしい方で、創立時から掲げている「人の中なる人となれ」という教育理念は今も変わることなく受け継がれています。

また、制服のスカートには一本の白線がついています。この白線には「正しく素直に、常に気品と清浄を保つこと」という設立者たちの願いが込められています。

袴の制服であった創立時代から何度制服が替わろうともなくなることなく、熱い願いが込められた白線（写真）は今も制服の上で輝き続けています。この輝きが魅力的なのか、2種類あるスカートのうち白線のスカートをはいている生徒の方が目立ちます。

現在、東京女子学園では600人を超える生徒が学んでいます。将来その生徒一人ひとりがそれぞれの立場で光り輝く日が来るのを先生方は楽しみにしているそうです。

〔東京女子学園高等学校／矢ヶ部百華、中村礼奈、常岡頌子〕

第1回卒業生と教職員「東京女子学園100年史」より

info 芝4-1-30
TEL 03-3451-6523

知られざる名スポットが三田高校に！

今回は、東京都立三田高等学校の敷地内にあるオセンチ山について取材しました。

東京府立第六高等女学校（現：東京都立三田高等学校）は、開校の翌年に現在の場所に移転し、オセンチ山はその敷地内になりました。歴史を探ると江戸時代の筑後久留米藩有馬中務大輔の大名屋敷の築山の名残で、庭園に造った人工的な山です。一説によると古墳で、直径18mの円墳といわれています。

オセンチ山の頂上には3つのベンチと街灯（写真）があり、数十年前まではそんなに木も茂っていませんでした。なので校舎の建て替えが行われる前は昼休みに気軽にオセンチ山に行く人もいました。また、物思いにふけりたい人もオセンチ山を利用しました。

オセンチ山には銀杏や桜の木など様々な種類の植物があります。その中でも下草の一種のニリンソウがきれいな花を咲かせます。

〔三田高等学校／
神原永昌、松浦勇真、嶋田康平、見月健一郎〕

info 三田1-4-46（三田高校内）
TEL 03-3453-1991

都立三田高校 定時制課程の『閉課程記念式典』のお知らせ

平成19年度末をもって定時制課程は79年の歴史に幕を下ろすこととなりました。地域の皆様、長い間ありがとうございました。

【日時】
3月8日（土）
10:30 定時制卒業式
（場所:都立三田高校）
11:30 閉課程記念式典
（場所:都立三田高校）
13:30 お別れ会「ともかきの会」
〔会費制〕
（場所:東京プリンスホテル）

【問い合わせ】
東京都立三田高等学校
（三田1-4-46）
TEL 03-3453-1991

[ひと人] 東京都文化功労者として表彰された 清水軍治（しみず ぐんじ）さん

東京都が教育の振興と文化の向上に尽くした個人や団体に贈る文化功労者として表彰された清水軍治さん（芝公園1）。港区音楽連盟会長として、地域の音楽文化活動に貢献いただいています。

清水さんは港区役所の周辺で、毎週1回お昼時にアコーディオン演奏をしています。

募集します！

芝地区地域情報誌・編集委員（記者）

芝地区の話題を発掘し、取材していただく地域情報誌・編集委員（記者）を募集します。

対　　象	芝地区管内に在住・在勤・在学で情報誌づくりに携わりたい人
活動期間	平成20年2月27日～平成21年3月31日
募集人数	20人程度（申し込み順）
内　　容	地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など。1回の取材などで平日の昼夜間に2時間程度（年間4回発行予定）。また、平日夜間に年間4回程度会議参加があります。
申し込み	氏名、住所（在勤、在学の人は所在地）、電話番号、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所地区政策課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
締め切り	平成20年2月8日（金）
そ の 他	報酬等の支払いはありません。

作品募集

芝地区「心の風景」写真募集

皆さんの心に残る場所・大切にしたいものは何ですか？　昔から変わらない路地裏、思い出の場所、これからも残し続けたい芝地区のいいところ……写真を募集します。ご応募は芝地区総合支所地区政策課（TEL 03-3578-3191）まで。お待ちしています。

「みなとコール」は暮らしの疑問、お答えします！

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。
年中無休／午前7時～午後11時
ゴヨウ（は）ナーニ　ミナト（コールです）
TEL 03-5472-3710
FAX 03-5777-8752
Eメール：info@minato.call-center.jp
※英語での対応もいたします。

芝地区編集委員
地域情報誌作成に芝会議のメンバーが参加しています。
中原晃治／渡辺芳子／桑原庸嘉子／佐多直明／鈴木あかね

芝地区地域情報誌の配布について
芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設にて配布しています。

港区芝地区総合支所地区政策課
所在地：〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号（港区役所2階）
TEL：03-3578-3191　FAX：03-3578-3180
ホームページ：http://www.city.minato.tokyo.jp/sisyo/siba/

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。